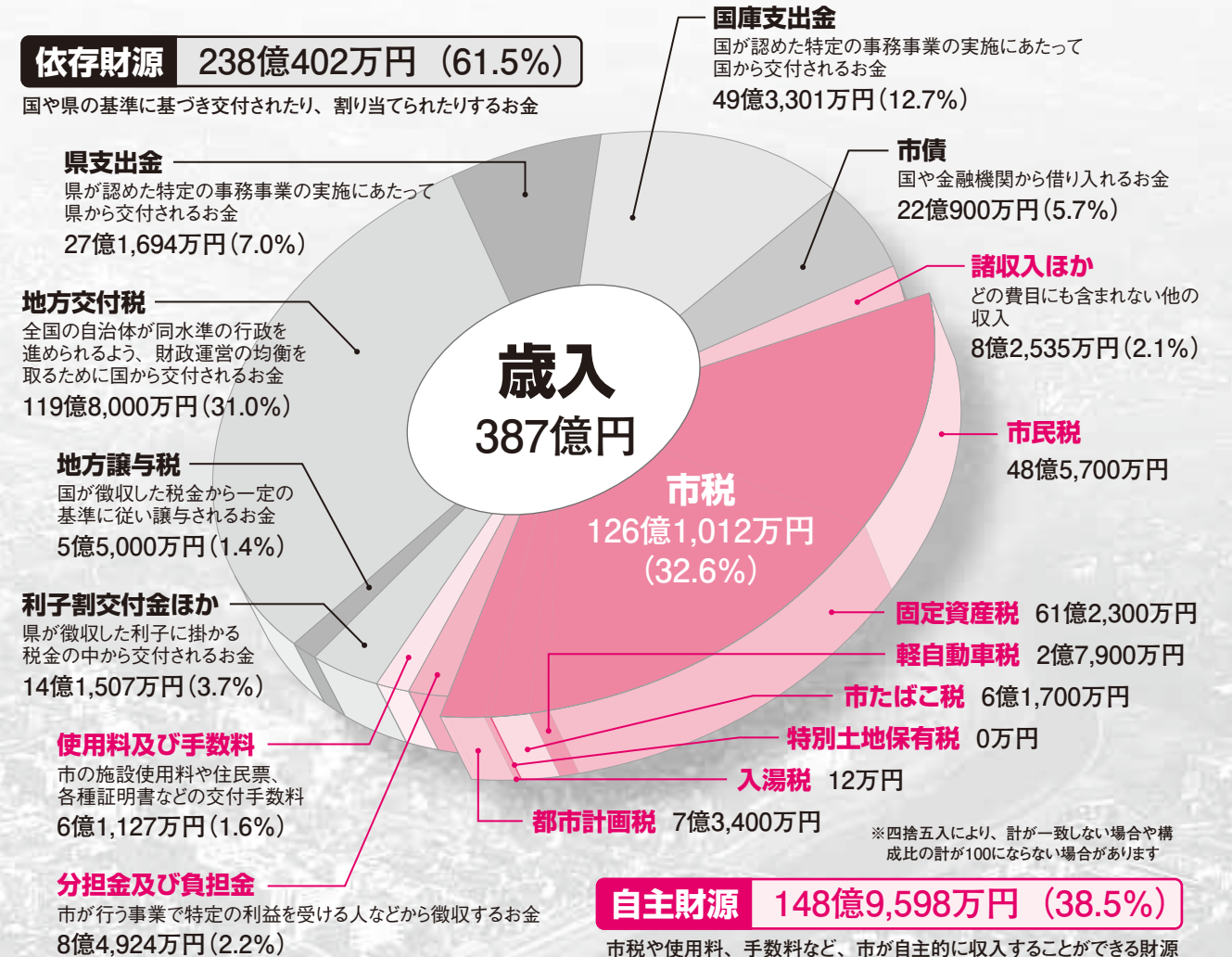
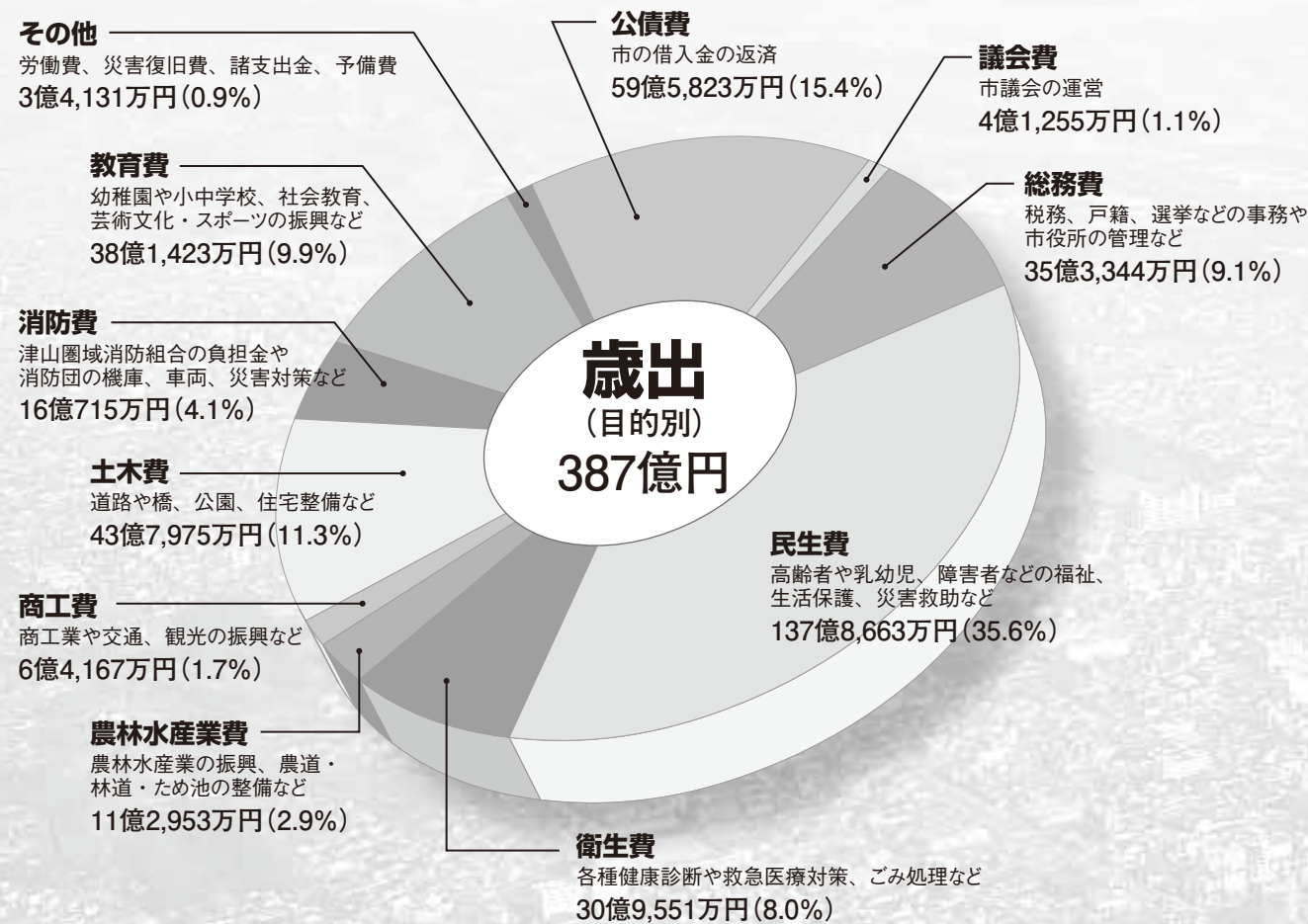


平成22年度当初予算の概要をお知らせします

問い合わせ先 財政課☎32-2020

平成22年度一般会計 当初予算(骨格予算)



性質別歳出

区分	予算額	構成比
人件費	78億6,618万円	20.3%
物件費	48億7,861万円	12.6%
維持補修費	1億6,243万円	0.4%
扶助費	85億2,684万円	22.0%
補助費等	49億2,727万円	12.7%
普通建設事業費	15億8,482万円	4.1%
公債費	59億5,668万円	15.4%
繰出金	45億4,863万円	11.8%
その他	2億4,854万円	0.7%
歳出合計	387億円	100.0%

今年度予算の特徴

平成22年度当初予算は、骨格予算として編成しました。政策的判断を必要とする新規施策や補助金などは原則として計上を見送りしましたが、市民生活への影響に配慮しながら義務的経費や継続的な事務事業に要する経費を中心に計上しています。

歳入については、長引く景気低迷により法人市民税に加えて個人市民税の落ち込みが見込まれるため、市税は大幅な減額となっています。一方、地方交付税は、厳しい状況に直面する地方財政に配慮して特別枠の創設による別枠加算などによって一定の増額が期待されますが、財政運営は一段と厳しい状況となっています。

歳出については、義務的経費である人件費や市債償還費などの公債費が減少していますが、子ども手当の創設、生活保護費の増大などで扶助費が大幅な増となりました。しかし、骨格予算であることから普通建設事業費や補助費等が大幅に減っているため、歳出全体では大幅な減額となっています。

なお、今回計上を見送っている政策的経費については、補正予算において計上することになります。